

平成30年6月吉日

各都道府県市町村教育委員会教育長 様
各国立大学法人・公立・私立中学校校長 様
各中学校技術・家庭科担当 様
各小学校家庭科担当 様
関係者 様

第55回東海・北陸地区中学校技術・家庭科大会
大会運営委員長 本多直也

第55回 東海・北陸地区中学校技術・家庭科研究大会 第30回 岐阜県中学校技術・家庭科研究大会 岐阜大会のご案内

時下 皆様にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

この度、第55回東海・北陸地区中学校技術・家庭科研究大会、ならびに第30回岐阜県中学校技術・家庭科研究大会を開催することとなりました。

本研究部では、研究主題を「未来を切り拓く確かな実践力の育成」として、技術・家庭科教育の充実発展を目指し、実践的な研究を進めています。皆様におかれましては、本研究大会に多数参加していただき、ご指導、ご助言を賜りますようご案内申し上げます。

大会開催要項

1 主催 全日本中学校技術・家庭科研究会
東海・北陸地区中学校技術・家庭科研究会
岐阜県小中学校教育研究会 中学校技術・家庭科研究部会

2 後援 岐阜県教育委員会
岐阜市教育委員会 瑞穂市教育委員会
岐阜県小中学校校長会 岐阜県産業教育振興会
岐阜県教育公務員弘済会 公益社団法人全国中学校産業教育教材振興協会

3 期日 平成30年10月18日(木) 午前 理事会
午後 全体会
10月19日(金) 終日 分科会 県内5会場(7分科会)

4 日程

第1日目 平成30年10月18日(木)

10:00 12:00 13:00 13:25 14:35 14:50 16:05 16:20

理事会	受付	開会式	研究発表	休憩	記念講演	閉会式
-----	----	-----	------	----	------	-----



清流の国ぎふ マスコットキャラクター
ミナモ (長良川鶴飼)

第2日目 平成30年10月19日(金)

9:00 9:30 10:00 10:50 11:10 12:00 13:00 14:20 14:40

受付	開会式	移動	公開授業 (50分)	休憩	研究討議Ⅰ (公開授業)	昼食	研究討議Ⅱ (各県提案)	閉会式
----	-----	----	---------------	----	-----------------	----	-----------------	-----

※授業公開の開始・終了時刻は会場によって異なります。

5 研究主題

「未来を切り拓く確かな実践力の育成」

6 主題設定の理由

技術・家庭科の学習における岐阜県の生徒の実態調査から、本県の生徒は、本教科の学習に対して興味・関心をもち、意欲的に取り組んでいることが明らかとなった。その一方で、学習内容の確実な習得や、既習事項を活用した家庭実践については弱さが見られた。このような実態を踏まえ、基礎的な理解と、それらにかかわる技能の習得、生活を工夫し創造する実践的な態度の育成に力を置いた学習指導が必要であると考えた。そこで、平成29年告示の学習指導要領で示された主体的・対話的で深い学びの視点に着目して、自らの考えを明確にしたり、広げ深めたり、生活や社会とのかかわりを考えながら課題を解決し、新たな課題に向かっていく学びの過程を積み重ねることが大切だと考えた。こうして培う力が、これから先の変化の激しい社会の中であっても、自ら自信をもって未来を切り拓いていくための力、つまり実践力になると考え、研究主題を設定した。

7 全体会

(1) 全体会会場 じゅうろくプラザ 岐阜市橋本町1丁目10番地11 058-262-0150 (代)

電車でお越しの場合 JR岐阜駅隣接 徒歩2分

名鉄岐阜駅下車 徒歩約7分

車でお越しの場合 「岐阜各務原IC」より 約15分

「岐阜羽島IC」より 約20分

※駐車場は会場近隣の有料駐車場をご利用ください。

(2) 指導助言者

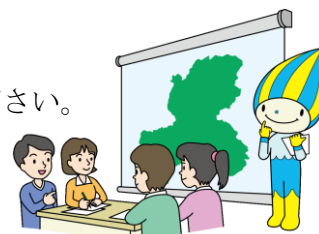
文部科学省 初等中等教育局 教育課程課 教科調査官

文部科学省 生涯学習政策局 情報教育課 教科調査官

国立教育政策研究所 教育課程研究センター研究開発部 教育課程調査官 上野 耕史 様

文部科学省 初等中等教育局 教育課程課 教科調査官

国立教育政策研究所 教育課程研究センター研究開発部 教育課程調査官 筒井 恭子 様



(3) 記念講演

株式会社 松永製作所 代表取締役社長 松永 紀之(まつなが のりゆき) 氏

松永製作所は1974年に手動車いすメーカーとして創業、福祉・医療にかかわる製品作りを手掛け、これまでに、科学技術長官賞、グッドデザイン賞を受賞されています。代表取締役社長の松永紀之氏は2003年に父親から経営を継ぎました。主力の車いすは業界一位のシェアを誇っています。バスケットボールとテニスの日本代表計8名の選手が同社の車いすを使用し競技に参加、技術面から選手をサポートされました。選手用の競技車いすは、完全オーダーの手作りで、一台一台思いを込めて作られています。「ニーズに応じて常に改良する。ただし、そこにはコストという壁がある。機能は100%のままで、いかにコストを10から6にするか、そこに技術がある。」という考えのもと、日々製品開発に取り組んでおられます。



8 分科会

(1) 会場校 発表担当県

	内 容	会 場 校	授 業 者	発表担当県
第1	材料と加工に関する技術	岐阜大学教育学部附属中学校	宮川 景行	愛知県
第2	エネルギー変換に関する技術	岐阜市立東長良中学校	後藤 修	三重県
第3	生物育成に関する技術	岐阜市立長良中学校	中西 健	石川県
第4	情報に関する技術	岐阜市立陽南中学校	古田 卓也	福井県
第5	家族・家庭と子どもの成長	瑞穂市立穂積北中学校	杉山 智子	三重県
第6	衣生活・住生活と自立	岐阜大学教育学部附属中学校	水野 綾香	石川県・静岡県
第7	身近な消費生活と環境	岐阜市立長良中学校	西 杏子	富山県

(2) 各分科会場について

第1分科会：材料と加工に関する技術				会場校（◆交通アクセス）
授業者	宮川 景行	提案者	堀場俊伸(岐阜市立岐阜西中教諭)	岐阜大学教育学部附属中学校 〒500-8482 岐阜市加納大手町74 TEL：058-271-0320 ◆岐阜バス松籟加納線 下川手行き JR岐阜⇒城南通り下車 徒歩5分 ◆JR岐阜駅よりタクシー約15分
他県提案	愛知県			
題材名	「身の回りの製品に利用されている材料と加工の技術を探る」			
授 業 概 要	製作品の組立ての作業を行います。丈夫で安定した製品になるように、ジグを使いながら固定し、道具を正しく使ってより正確に作業ができるようにします。組立状況を検査したり、仲間と作業の様子を確認したりしながら作業を行います。			
第2分科会：エネルギー変換に関する技術				会場校（◆交通アクセス）
授業者	後藤 修	提案者	石川 明(岐阜市立島中教諭)	岐阜市立東長良中学校 〒502-0056 岐阜市長良真生町3-27-4 TEL：058-294-1782 ◆岐阜バス松籟加納線 松籟団地行き JR岐阜駅⇒長良高校前下車 徒歩5分 ◆JR岐阜駅よりタクシー約30分
他県提案	三重県			
題材名	「生活や社会で利用されているエネルギー変換の技術を探る」			
授 業 概 要	ブレッドボードを使って、LEDが点滅する発振回路を設計します。LEDの点滅の間隔を目的に合わせて変更するにはどうしたらよいかを検討します。抵抗値や電解コンデンサの容量を変更し、目的に合った回路となるように改良し、決定していきます。			
第3分科会：生物育成に関する技術				会場校（◆交通アクセス）
授業者	中西 健	提案者	福田 竜也(岐阜市立青山中教諭)	岐阜市立長良中学校 〒502-0817 岐阜市長良福光2070 TEL：058-231-7207 ◆岐阜バス岐南町線 岐阜大学病院行き JR岐阜駅⇒長良南町下車 徒歩5分 ◆JR岐阜駅よりタクシー約30分
他県提案	石川県			
題材名	「作物の栽培を通して、目的に応じた生物育成の技術を探る」			
授 業 概 要	一人ひとつのプランターを用いて、ブロッコリーを育てます。品質や収量等の生産性だけでなく、育成・消費する際の安全性、環境への負荷、経済性にも着目することの大切さに気付き、管理作業や育成環境の調節の方法について検討していきます。			
第4分科会：情報に関する技術				会場校（◆交通アクセス）
授業者	古田 卓也	提案者	和田 慎也(神戸町立神戸中教諭)	岐阜市立陽南中学校 〒500-8353 岐阜市六条東一丁目1-1 TEL：058-274-0055 ◆岐阜バスおぶさ墨俣線 岐阜聖徳学園大学行き JR岐阜駅⇒加納新本町下車 徒歩5分 ◆JR岐阜駅よりタクシー約10分
他県提案	福井県			
題材名	『よりよい生活を築く「計測・制御」の技術を探る』			
授 業 概 要	身近な生活をより便利にすることを目的として、課題を設定し、工夫してプログラムを作ります。そして、照度センサや距離センサなどを用いて実際に計測したり、処理の手順を比較・検討したりしながら、計測・制御システムを改善していきます。			

